



Diploma Programme
Programme du diplôme
Programa del Diploma

© International Baccalaureate Organization 2022

All rights reserved. No part of this product may be reproduced in any form or by any electronic or mechanical means, including information storage and retrieval systems, without the prior written permission from the IB. Additionally, the license tied with this product prohibits use of any selected files or extracts from this product. Use by third parties, including but not limited to publishers, private teachers, tutoring or study services, preparatory schools, vendors operating curriculum mapping services or teacher resource digital platforms and app developers, whether fee-covered or not, is prohibited and is a criminal offense.

More information on how to request written permission in the form of a license can be obtained from <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

© Organisation du Baccalauréat International 2022

Tous droits réservés. Aucune partie de ce produit ne peut être reproduite sous quelque forme ni par quelque moyen que ce soit, électronique ou mécanique, y compris des systèmes de stockage et de récupération d'informations, sans l'autorisation écrite préalable de l'IB. De plus, la licence associée à ce produit interdit toute utilisation de tout fichier ou extrait sélectionné dans ce produit. L'utilisation par des tiers, y compris, sans toutefois s'y limiter, des éditeurs, des professeurs particuliers, des services de tutorat ou d'aide aux études, des établissements de préparation à l'enseignement supérieur, des fournisseurs de services de planification des programmes d'études, des gestionnaires de plateformes pédagogiques en ligne, et des développeurs d'applications, moyennant paiement ou non, est interdite et constitue une infraction pénale.

Pour plus d'informations sur la procédure à suivre pour obtenir une autorisation écrite sous la forme d'une licence, rendez-vous à l'adresse <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

© Organización del Bachillerato Internacional, 2022

Todos los derechos reservados. No se podrá reproducir ninguna parte de este producto de ninguna forma ni por ningún medio electrónico o mecánico, incluidos los sistemas de almacenamiento y recuperación de información, sin la previa autorización por escrito del IB. Además, la licencia vinculada a este producto prohíbe el uso de todo archivo o fragmento seleccionado de este producto. El uso por parte de terceros —lo que incluye, a título enunciativo, editoriales, profesores particulares, servicios de apoyo académico o ayuda para el estudio, colegios preparatorios, desarrolladores de aplicaciones y entidades que presten servicios de planificación curricular u ofrezcan recursos para docentes mediante plataformas digitales—, ya sea incluido en tasas o no, está prohibido y constituye un delito.

En este enlace encontrará más información sobre cómo solicitar una autorización por escrito en forma de licencia: <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.



International Baccalaureate®
Baccalauréat International
Bachillerato Internacional



Japanese B – Standard level – Paper 2 – Reading comprehension
Japonais B – Niveau moyen – Épreuve 2 – Compréhension écrite
Japonés B – Nivel Medio – Prueba 2 – Comprensión de lectura

Tuesday 25 October 2022 (afternoon)

Mardi 25 octobre 2022 (après-midi)

Martes 25 de octubre de 2022 (tarde)

1 h

Text booklet – Instructions to candidates

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet accompanies paper 2 reading comprehension.

Livret de textes – Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret accompagne la partie de l'épreuve 2 portant sur la compréhension écrite.

Cuadernillo de textos – Instrucciones para los alumnos

- No abra este cuadernillo hasta que se lo autoricen.
- Este cuadernillo acompaña a la parte de comprensión de lectura de la prueba 2.

Blank page
Page vierge
Página en blanco

問題 A

小布施町の「まちじゅう図書館」

1 小布施町は、本州の真ん中にあつて、長野県で一番小さい町です。人口は、やく一万人ちょっとで、小学校と中学校が一つずつあります。いなかの町で、駅前には、タクシー乗り場はありません。コンビニもおみやげの店もありません。でも、まわりの山のふうけいがすばらしいです。そして、町のあちらこちらに花壇があつて、一年中美しいです。

2 最近、小布施町の「まちじゅう図書館」が有名になつて、前よりも観光客の数がふえました。小布施町に本屋はありませんが、町のいろいろな場所で、だれでも自由に本を読んだり、借りたりすることができます。例えば銀行、郵便局、喫茶店、パン屋などには、本だながります。そして、どれもみんな小さな図書館です。銀行の本だなには、お金の本や子どもの本、パン屋にはパンの本をおいています。喫茶店には、自然の本が多くて、飲み物を待ちながら、本を楽しむことができます。

3 町のどこにでも、小さな図書館があるので、「まちじゅう図書館」といっています。「まちじゅう図書館」は、十の小さな図書館から始まりました。今は十七あります。

4 「かねいち」も小さな図書館の一つです。「かねいち」は、内山さんの家です。だれでも無料で利用できます。玄関のよこにテーブルといす、本だなをおいています。キッチンで、お茶やコーヒーも自由に飲むことができます。ここには、町の中学生が一番よく来るそうです。学校の帰りに友だちといつしょに来て、話をしたり勉強をしたりしています。夏休みには、内山さんが中学生に歴史や生物の本をしようかいしています。

5 みなさんも、小布施町に来てみてください。町の人といつしょに、本を楽しみましょう。本の楽しみかたは、いろいろです。買い物をしながら、お茶を飲みながら、観光をしながら、自由に本をお楽しみください。

問題 B

わがつき 和樂器グループ「ZAKURO SHOW」

「ZAKURO SHOW」は、日本の伝統的な たいこや ことなどを使って、毎月ライブを開いています。グループの二人はロシア人のジュリアさんと、アルメニア人のカレンさんです。ジュリアさんにお話を聞いてみました。



5 Q [-17-]

A 私は 10 年ぐらい前に日本語を勉強するために日本にきました。当時はお金もありませんでしたし、日本語も分かりませんでしたが、日本の音楽がききたいと思いました。ところが、インターネットで調べても、どこへ行ったら日本の伝統的な音楽がきけるか、分かりませんでした。近所の人は「歌舞伎座へ行ってみたら。」と言ったのですが、歌舞伎は高いし、日本人でも分かりにくい日本語で、結局、東京では日本の楽器がきけませんでした。

Q [-18-]

A 2 年ぐらい前にカレンさんと話して、「ほとんどの外国人旅行客は東京に来る。東京で、日本語が分からぬ外国人でも楽しめる和樂器の音楽会を開こう。」と決めて、始めました。世界中の人に知らせるために、ホームページも英語にしました。

Q [-19-]

A 伝統的な日本の音楽は、ことだけ、または、しゃくはちだけ、というものが多いです。グループで いっしょに ひけるようにアレンジしなければいけませんでした。それから、伝統的な きょくは とても長いものが多いので、日本の音楽が初めてのお客さんには、あまり適切ではありません。一つ一つの きょくを短くして、一晩のコンサートの中で いろいろな きょくが きけるように しました。

Q [-20-]

A 東京のお客さんは、ちょっと特別なものを期待しますね。高くてもいいんですが、サンドイッチとコーヒーを用意したり、ちょっと高級なホテルで開いたりとかします。クラシックのコンサートもそうですが、東京の人は、チケットを 3 万円にすると来るんですが、4 千円ぐらいだと興味がなさそうです。

- Q おもしろいですね。
- A ええ。私たちは外国人だからこそ、日本の音楽の良さが分かるし、それを日本人に伝えたいんです。日本料理も空手も柔道も外国でブームになって、日本で見なされましたよね。日本の音楽も そのように できればいいと考えています。

「ZAKURO SHOW」の今後の活動が楽しみですね。



問題 C

店と客を調べてメニュー開発

不要な画像を削除

ラムラ社は、東京などでレストランを開いている会社です。今、ある産業大学といっしょにビジネスのすすめかたを考えています。いろいろなアイディアをためしていますが、今年は大学生たちがやき肉店の新しいメニューを開発しました。それが10月の中旬からレストランで出されることになりました。大学生たちは「お客様たちに食べて、よろこんでもらいたい。」と期待しています。

大学生たちはみんな、経済やマーケティングを勉強しています。去年の大学生は、ラムラ社のカフェのメニューを考えました。今年は、大学3年生46人が8つのチームに分かれてラムラ社のやき肉店を新しくする方法を考えました。大学生たちは「やき肉だとすると、やき肉定食しかアイディアがなかったので、最初はとてもこまった。自分たちの考えを広げるのがむずかしい課題だった。」と話しています。

大学生たちはまず、ラムラ社の自由がおかのレストランに行ってみました。そして、ここには、どんな人がいつ、何人ぐらい来るか調べました。また、レストランで食べているお客様に実際にインタビューをしてみました。そのけっか、このレストランの課題が見えてきました。これを解決するために、大学生たちはどんな料理が売れるだろうかと考え、新しいメニューを作りました。

8月8日には、ラムラ社の人にも大学に来てもらって、大学生たちが新しいアイディアやメニューを発表しました。一つのチームは、自由がおかのレストランには学生があまり来ないことに気づきました。レストランのイメージがちょっと高級で、高そうだからです。そこで、女子学生をターゲットに、「玉手ばこ」という料理を作りました。

20 はこの中の肉は花のようにきれいに見えますが、そのほかにやさいもたくさん入れました。ほかのグループは50代の女性をターゲットにして、ワインつきのセットを考えました。家族といっしょに来て、料理をつまみながら、会話がはずむ様子をイメージしました。

25 9月にはレストランで試食会が行われました。プロの料理人が作った美しい料理を見て、大学生は感動していました。「お客様からどんな反応があるか、楽しみ半分で不安半分です。」と言いました。大学の先生も、「学生にとって貴重な体験になりました。今後もぜひ続けたいです。」と話していました。

Disclaimer/Avertissement/Advertencia:

Content used in IB assessments is taken from authentic, third-party sources. The views expressed within them belong to their individual authors and/or publishers and do not necessarily reflect the views of the IB.

Le contenu utilisé dans les évaluations de l'IB est extrait de sources authentiques issues de tierces parties. Les avis qui y sont exprimés appartiennent à leurs auteurs et/ou éditeurs, et ne reflètent pas nécessairement ceux de l'IB.

Los contenidos usados en las evaluaciones del IB provienen de fuentes externas auténticas. Las opiniones expresadas en ellos pertenecen a sus autores y/o editores, y no reflejan necesariamente las del IB.

References/Références/Referencias:

- 問題A** 参考：未知の細道, 2016. 川内有緒「書を捨てないで、まちを出よう！小布施の『まちじゅう図書館』をめぐる旅」[online] Available at: <https://www.driveplaza.com/trip/michinohosomichi/ver73/> [Accessed 7 January 2022]. Source adapted.
- 問題B** Musicman, 2020. 「世界に和楽器の魅力を伝えていきたいー和楽器ライブ『ZAKURO SHOW』」[online] Available at: <https://www.musicman.co.jp/interview/286269> [Accessed 10 January 2022]. Source adapted.
- 問題C** 前田基行, 2019. 「店と客を分析 人気メニューを開発」『朝日中高生新聞』29 September p. 10. Source adapted.